

## 令和6年度「インターネットによる遠隔教育受講生（遠隔選科生）」募集要項

科目名 遠隔-8 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を活用した自治体の根拠に基づく政策立案（EBPM）

A. 科目責任者：赤羽 学（医療・福祉サービス研究部）

B. 科目の内容概略ならびに一般目標（General Instructional Objective: GIO）と行動目標（Specific Behavioral Objectives: SBO）

日々発生し収集される多様なデータはビッグデータと言われ、分析のハードルは高いものの、多様性からその利活用が急速に拡大している。保健医療分野においても活用され始めており、レセプト情報（保健、医療、介護）を政策立案の視点から分析することが重要な課題の一つとなっている。

本科目では、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を中心に講義し、現場（地域、職域、臨床など）でレセプト情報等を分析し、得られた成果を政策立案に活用するための基本的知識と技術を習得することを目的とする。

○一般目標：根拠に基づく政策立案が求められている中、公的データベースであるレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を幅広い視点から分析し、エビデンスに基づいた政策立案できる能力を習得する。

○行動目標

- ・NDB について理解する。
- ・NDB オープンデータの取得方法と構造について理解する。
- ・NDB データの利用申請について理解する。
- ・NDB データの解析法について理解する。

○科目の進め方

- ・遠隔システム(e-learning)を中心にすすめる
- ・講義 90 分×8 回, 自主学習時間 90 分×4
- ・e-learning で講義を受講した後, 課題を提出する(遠隔システム利用)
- ・質問等は遠隔システム(Zoom, Teams)で受け付ける。

C. チャプター名と各チャプターにおける獲得目標

第1章 NDB について

NDB、レセプトデータについて理解する。

第2章 NDB オープンデータの取得方法と構造

NDB オープンデータの取得方法について理解する。

NDB オープンデータの構造について理解する。

第3章 NDB データの利用申請について理解する。

NDB データの利用申請について理解する。

オンサイトリサーチセンターの利用法について理解する。

第4章 NDB データの解析法について理解する。

NDB オープンデータの解析法について理解する。

特別抽出でできることを理解する。

サンプリングデータセットでできることを理解する。

## 第5章 NDB データから政策立案

NDB データ（都道府県データセット）を用いて所属自治体のデータ解析から政策立案を行うことができる。

- D. 担当者一覧：赤羽 学（医療・福祉サービス研究部）  
横山 徹爾（生涯健康研究部）  
星 佳芳（保健医療情報政策研究センター）  
玉置 洋（医療・福祉サービス研究部）  
中西 康裕（医療・福祉サービス研究部）
- E. 募集定員：定員 10 人
- F. 受講資格：国や地方自治体において、保健医療福祉関連業務に従事する者
- G. スクーリングの有無：なし
- H. 修了認定の方法：課題提出
- I. 開講期間：令和6年12月16日～令和7年 1月31日
- J. 受付期間：令和6年10月15日～令和6年11月15日
- K. 追加提出書類等：なし
- L. 使用テキスト：なし
- M. 接続環境：インターネットを用いて科学院遠隔教育システムにアクセスできる。
- N. 専門課程（分割後期を含む）認定単位：1